第30号
宇障連
福田富一栃木県知事揮毫

・発行責任者・
会長　麦倉仁巳
・編集・問合わせ先・
宇都宮市障害者福祉会連合会
〒320-0806
宇都宮市中央1-1-15
市総合福祉センター3F
・宇障連事務局・
TEL 637-7771
FAX 639-0663
・手話通訳専用・
TEL･FAX 636-1219
・印刷所・
藤崎印刷株式会社

年頭のご挨拶

社会福祉法人　宇都宮市障害者福祉会連合会
会長　麦倉仁巳

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員はじめ関係者の皆様には、平素より当会の各種事業にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで宇障連も、創立六十周年を迎えることが出来ました。

障害者差別解消法も施行後一年半余が経過し、徐々にではありますが障害者への理解が進みつつあるように感じます。

国においては、二年後の東京パラリンピックにむけて「ユニバーサルデザイン二〇二〇行動計画」を示し、障害の有無、男女、老若にとらわれない共生社会のための「心のバリアフリー」を推進しており、栃木県においても今年八月から「ヘルプマーク」を導入され、外見から分かりづらい妊娠初期の人や内部障害・義足使用者等も合理的配慮が受けやすくなることと期待しております。

宇都宮市においても来年度からの「障がい者福祉プラン」「障がい福祉サービス計画」「障がい児福祉計画」を現在策定中であり、障害者を取り巻く環境も大きく変わろうとしております。

しかしながら、合理的配慮を享受するには、私たち当事者も啓蒙活動等を通して、それぞれの立場で自発的に障害種別ごとの障壁を、市民の皆さんに理解していただく必要があります。今後も市民の皆さんへの障害の理解促進のための活動を行っていきたいと思います。

宇障連も創立六十年を迎え、役職員一同心新たに地域に密着した福祉に努めてまいりますので、会員はじめ関係者の方々のなお一層のご指導・ご支援をお願い申し上げます。

結びに関係団体の益々のご発展と会員皆様のご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

ヘルプマークをご利用ください

ヘルプマークは、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくするためのものです。配慮や支援が必要な方は、左記の窓口で配布していますので、お申し出ください。

▽配布場所
市役所本庁舎（障がい福祉課、保健と福祉の相談窓口）、保健所保健予防課、各地区市民センター・出張所、教育センター、子ども発達センター、障がい者生活支援センター、市社会福祉協議会など

▽問合せ　市役所　障がい福祉課
TEL　632-2353
FAX　636-0398

新年明けましておめでとうございます
本年も宜しくお願い申し上げます

宇都宮市肢体障害者福祉会
宇都宮市視覚障害者福祉協会
宇都宮市聴覚障害者協会
宇都宮市肢体不自由児者父母の会
宇都宮喉友会
河内地区身体障がい者福祉会

祝 厚生労働大臣表彰受賞

当会理事で、宇都宮市視覚障害者福祉協会会長の小池上惇さんが厚生労働大臣表彰を受賞しました。

受賞に当たって　小池上　惇

この度、宇障連の推薦により更生援護功労者として厚生労働大臣の表彰を受け、厚生労働省での授賞式の後、バスで皇居に移動し宮殿において天皇・皇后両陛下に拝謁し、心温まる励ましとねぎらいの言葉に、改めて感動しました。

生後間もなく医者から視力がないことを告げられた両親はとてもショックを受けたけれども、視覚はなくともそれを不自由に感じさせないほど、なんでもさせてくれました。東京教育大学の付属盲学校に入学するため吉祥寺から上十条に転居しました。入学後母も私とともに点字の読み書きを勉強し、母が点訳した童話などを自分の指で楽しみました。また、高校時代には祖母が買ってくれた当時としては高価なオープンリール式のテープレコーダーは、ボランティアの大学生に試験問題や参考書などを録音してもらい大学受験勉強に大いに役に立ちました。盲学校の教員になってからも参考資料などはボランティアや妻に点訳してもらい、また、教育委員会などに提出する文書は私が点字で書いたものを妻が墨訳していました。そして１９８６年に音声ガイド付きのコンピューターが出るとすぐに購入し、漢字かな交じりの文章が書けるようになったことは私にとって大きな革命でした。現在スマホやブレイルメモなど視覚障害者に有用な機器を積極的に使いこなせているのも周りの晴眼者や多くのボランティアの協力があってこそと思っています。

現在、宇都宮市視覚障害者福祉協会の会長、図書館のアドバイザー、小・中学校の出前講座のお手伝いなどをしていますが、これからも視覚障害者の福祉の向上に役立ちたいと思っています。

表彰おめでとうございます
～平成29年度表彰者～

▼厚生労働大臣表彰
厚生労働省（12月5日）
更生援護功労　小池上　惇（視　覚）

▼第23回栃木県民福祉のつどい
宇都宮市文化会館（8月29日）
▽栃木県知事表彰
自立更生　山本　純一（肢　体）
▽栃身協会長表彰
自立更生　平野　悦子（肢　体）
更生援護功労　小野美智子（視　覚）

▼第11回宇都宮市民福祉の祭典
宇都宮市役所（11月23日）
▽宇都宮市長表彰
自立更生　森田　邦之（肢　体）
坂本　好夫（河　内）
永田　義美（視　覚）
支援功労　田邊　靜子（河　内）
落合　　明（視　覚）
高橋　正明（喉友会）
山下　文人（喉友会）
▽宇障連会長表彰
自立更生　小口　　巖（肢　体）
齋藤　容子（肢　体）
竹内　　清（河　内）
金田　陽枝（視　覚）
野満香代子（河　内）
支援功労　塚原　佳子（視　覚）
中里　尤之（喉友会）

野外訓練 ～那須どうぶつ王国～

平成29年7月22日（土）第37回野外訓練が行われました。会員やガイドなど50人がバス2台に乗り、開園20年目を迎えた「那須どうぶつ王国」に入園しました。

王国内では、各自が、イヌやネコ、ウサギとふれあったり、熱帯の動物を鑑賞したりしました。バーベキューガーデンで食事をした後は、動物のショーを見学。特に、「バードパフォーマンスショー」は、タカやワシ、ミミズクなどの猛禽類が、フライトや様々なパフォーマンスを行い、翼を広げ飛び回る姿は迫力満点でした。

天気にも恵まれ、那須高原の自然の中で、動物たちとふれあえた楽しい一日になりました。

宇都宮市へ要望書を提出

宇障連会員の皆様の声を受けてまとめた要望書を、宇都宮市の酒井保健福祉部長に提出しました。

当日は、麦倉会長のほか、理事を代表して中村理事、山﨑理事が同席しました。

要望書を手渡した後には、保健福祉部次長や障がい福祉課長などを交えての意見交換も行われました。

要望書の項目は次の通りです。

1. 災害時の対応について
2. 大型の福祉バスの導入について
3. 重度身体障がい児（者）等への日常生活用具の給付・貸与について
   3-1 給付対象者に関すること
   3-2 日常生活用具給付（含補装具交付）申請時の内容説明
   3-3 視覚障がい関係（給付品目の追加、基準額の見直し）
   3-4 聴覚障がい関係
4. 市役所の電話対応や窓口対応について
5. 視覚障がい関係について
   5-1 ガイドヘルパー利用時の乗用車の利用について
   5-2 宇都宮市からの発送文書について
   5-3 宇都宮市からの情報が速やかに伝わる手段について
   5-4 同行援護の支給量について
6. 聴覚障がい関係について
7. 肢体障がい関係について
8. 障がい者施設の整備について
   8-1 短期入所事業について
9. 聴覚障がい者相談業務の委託について
10. 工賃向上支援事業について

地域交流事業 ノーマライゼーションフェスティバル9th

「交通バリアフリーを考える」をメインテーマとして河内地区市民センターで開催しました。

午前の部は、宇都宮大学地域デザイン科学部の大森宣暁（おおもりのぶあき）教授による「誰もが移動しやすいまちづくりをめざして」と題した講演会を行いました。

これから訪れる高齢社会の都市交通やバリアフリーの現状や課題、将来像などを、外国の事例を交えながら話していただきました。

特に、「日本のバリアフリーは先進国の中でもトップレベル。しかし、障がい者に対する気遣いや手助けといった『心のバリアフリー』は、まだまだ。２０２０年東京オリンピック・パラリンピック大会が控えており、もっと啓発活動を通した理解が必要」と指摘されました。

午後の部は、「お楽しみ音楽会」を開催しました。トップバッターは、地元の「ゆりかご保育園」の園児たちによる「和太鼓演奏」と「よさこいソーラン」。園児たちの日頃の練習の成果を、元気一杯のパフォーマンスで披露してくれ、客席から大きな拍手が送られました。

続いて、聴覚に障がいのある方々のサークル「瞳」による合唱があり、客席と一体となった手話コーラスを披露してくれました。

続いて、「しゃぼん玉合唱団」が登場しました。視覚に障がいのある方々による混声合唱のメロディーが会場を包み込むと、思わず目頭を押さえる方も見受けられました。

最後には、手話コーラス「瞳」のメンバーも参加し、会場と一体になった「世界に一つだけの花」を披露してくれました。

その他として、施設等製品の販売や盲導犬のパネル展示や体験なども行い、約３００人の方にご来場いただきました。

参加者の皆様、運営にご協力いただいた皆様、また、ボランティアとして参加していただいた地元・古里中学校の生徒さん、ありがとうございました。

歳末たすけあい配分事業
ハッピーフェスティバル

毎年12月恒例の「ハッピーフェスティバル」が、市総合福祉センターで開催されました。

今回は、栃木市を拠点に活動している「蔵の街とちぎトヨさん一座」に出演していただき、前半は、詩の朗読やハーモニカ演奏で柴田トヨさんの世界を演出していただきました。後半は、息子さんの健一さんから、母トヨさんとの思い出を語っていただきました。参加者の皆さんは、健一さんの語り口に、涙ぐんだり、笑ったりの時間を過ごしました。

午後は、ビンゴ大会で盛り上がりました。なお、今回は、宇障連創立60周年を記念して「宇都宮餃子会」から特別協賛として、餃子の提供がありました。トヨさん一座をはじめ、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

宇都宮市からのお知らせ

会話が困難な方に ファクス119通報用紙を作成しました

宇都宮市消防局では、聴覚などに障がいのある方や、病気やけがなどで会話が困難な方の緊急通報用として、ファクスで119番通報できる「ファクス119」を運用しています。

聴覚障がいを中心とした障がい者が正確に通報できるよう、本市で配布しているヘルプカードの様式を取り入れた「ファクス119通報用紙（左参照）」を作成いたしました。

宇都宮市独自の仕様としては、ヘルプカードと同じ情報を記載でき、かかりつけの病院や障がいのため必要となる配慮を、通報と同時に伝えられること、通報用紙の左側は、あらかじめヘルプカードの情報を転記しておくことで、右側は、通報時に○をつけるなどで済むことがあげられます。

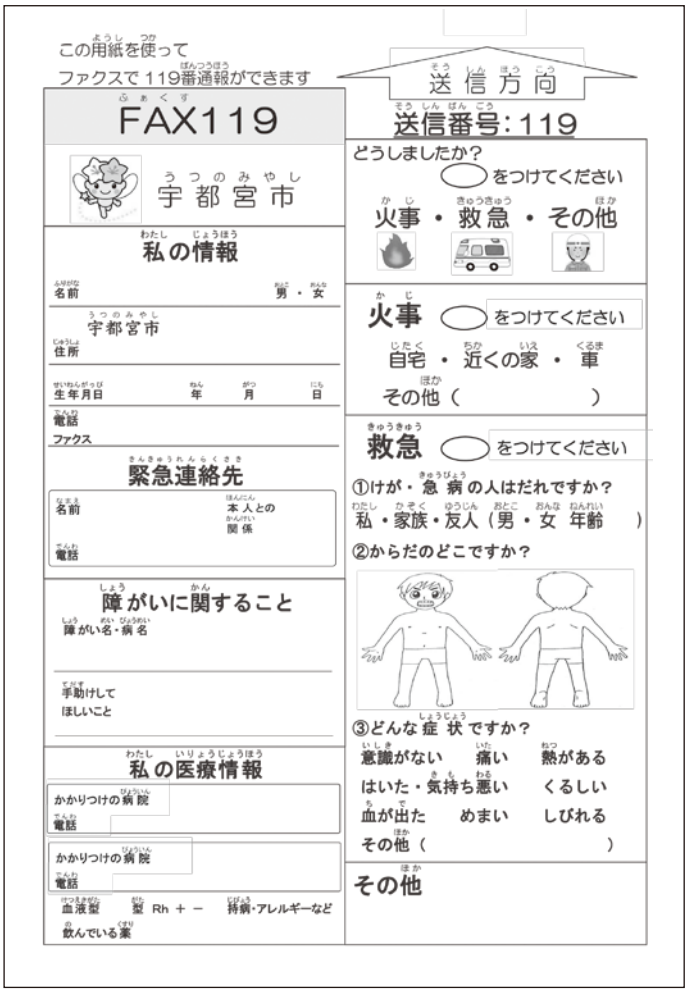
■ファクス119とは

聴覚などに障がいのある方や病気やけがなどにより会話が困難で文字による意思疎通を行う方が、ファクスで119番通報ができるものです。

通報者は住所や名前、要請内容を、消防局は受信した旨の連絡やさらなる状況確認を、ファクスを利用して行うものです（ファクス番号：局番なしの119または028-622-1155）。

通報後、消防局から受信確認のファクスが送信されるので、届かない場合は、再度通報用紙をファクス送信するか、付近の方に通報を依頼してください。

▽問合せ　消防局　通信指令課
TEL　625-5599
FAX　625-3001



今後の行事予定

《2月》
11日（日）宇障連ボウリング大会（インターパークプラスワン）

《3月》
3日（土）理事会
10日（土）評議員会

※予定が変更になる場合は、会員の皆さんにご連絡いたします。

本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。

点訳　点訳グループ「虹」の皆さん
音訳　デイジー全文訳センター「アクセス」の皆さん

ご協力ありがとうございました。